



よろしい

あなた  
貴女たちの  
入学を許可します

これから一緒に  
魔砲少女を目指して  
頑張りましょう



魔砲少女

魔法少女

第3話

漫画 COMIC まや〜吾郎 ころう

きやあつ

バタッ

ちよつと…  
いきなり転ばない  
でよね

だってえ…

こんな靴  
今まで履いたこと  
なかったし…

しっかり  
して

今日からあたしたち  
魔砲少女  
なんだからね

コーホセイだよ  
お姉ちゃん

でも…本当に  
なれるかな…

魔砲少女に…

平気よ

もう誰も  
いなくならない

あんな魔物を  
相手に…

……本当に…

皆も

シエスタも

あたしが  
絶対に守るわ



うん…

私も…頑張る

お姉ちゃんを  
守れるように…

魔砲少女になるね

ありがとう…  
お姉ちゃん



絶対に何があっても…

二人で…  
…一緒に…





シエスタが  
黒くなって...

それが  
魔砲少女で...



…たしか



アイツらは  
捕まってる...



…アンタ!!

アーネ君

お目覚めですか



それから...

なんなのよ  
これは…

シエスタは何処!!



まあ  
落ち着きなさい

この学院には  
魔砲少女になるべく  
貴族令嬢から  
かたや田舎娘まで

各地から  
様々な娘が  
送られてきます



これは  
その中で仕上がった  
至高の果実を…

此度の計画に  
協賛いただいた方々に  
振る舞う  
秘密の宴ですよ

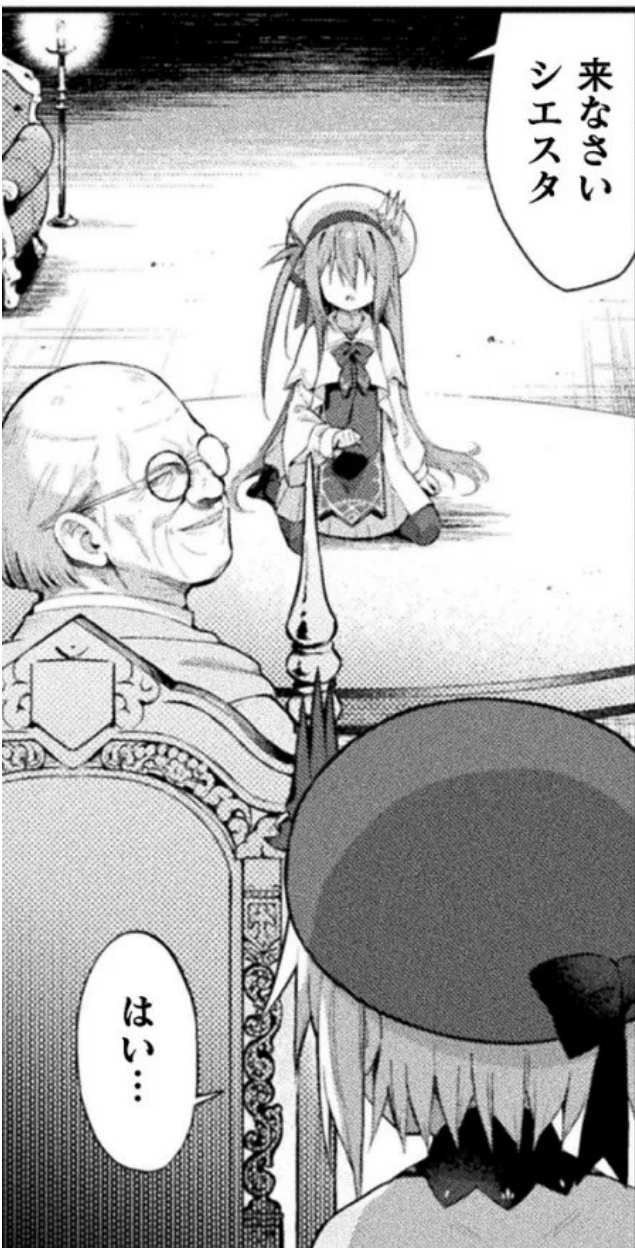


果実…?!



シエスタ!!

勿論 もちろん  
貴女たちのこと  
ですよ



来なさい  
シエスタ

はい…



魔砲少女の力の源：  
すなわち魔力は  
愛と正義の心で  
生み出される

中でも  
ひと際 さき 強い魔力を  
生み出すのが

心が最も揺れ動く  
思春期の頃…

心身ともに  
未熟な少女に  
性交は劇薬です

快樂の濁流に吞まれ  
性愛と恋愛の境界が  
曖昧になり

アンタ  
また…ッ!!

惚れた男のために  
無限の強さを発揮する  
愛の奴隷となる

シエスタ…  
どうして…ッ

ごめんね…  
お姉ちゃん…  
先生が  
怪我したら  
いけないから…

これが  
魔砲少女です

そして彼女たちの  
魅力は強さだけでは  
ありません



みずみず  
瑞々しい身体

あどけない表情

ほんのり赤い花卉

シエスタもなれて  
喜んでますよ

魔砲少女  
果実に

これを至高の果実と  
言わずして  
なんと言いましょう

そんなわけ  
ないでしょ!!



あのね…  
お姉ちゃん…

ごめんね…

反対されると  
思ったから…

お姉ちゃんに…  
置いてかれたく  
なかったからあ…

私ね…  
お姉ちゃんと一緒に  
魔砲少女になるために  
先生に秘密の特訓を  
お願いしたの…

ちゃんと  
言い出せなくて…  
…ごめんね…

シエスタ…

おかげで私は  
強くなれたの…

お姉ちゃんに  
ないしよでこんな風に…

いっぱい特訓…  
してもらったの…

先生にいっぱい  
触ってもらったの

おっぱいも…  
おまたも…

私の恥ずかしい  
ところ…全部…

最初は  
きもちわるいって…

こんなこと  
やめてって思った…

けど…お

くちっ

頭がふわふわ  
してきて…

触れたところ  
があつくなくて…っ

せつごころほつ  
なつちやいたのっ♥

カラダから  
魔力が溢れてきてえ♥

それで…え

おまたの  
なかを…っ

指でいっぱい  
グリグリっして  
もらったら…

すごく—



あっ♡

あっ♡

キュウウウ

せんせえ  
そこお♡



おっ♡

おお…おひ♡

この子は本当に  
優秀でしてね…



幼こ気いで愛らしく  
優やさしく健た気げで—



おっ♡

きゅわいのお♡

私の特訓調教も儀式セックスも  
難なく受け入れ

男を悦よろこばせる

私好みの魔砲少女に  
なりました

アンタ…  
なんてことを…ツ

彼女が望んだ  
ことですよ

候補生は  
愛と正義の心を育そだんで  
卒業試験に合格  
しなければならぬ

さも無くば儀式の際に  
望ましくない結果に  
なりますので…

本来なら貴女にも  
じっくり特訓を  
受けてもらうつもり  
でした…

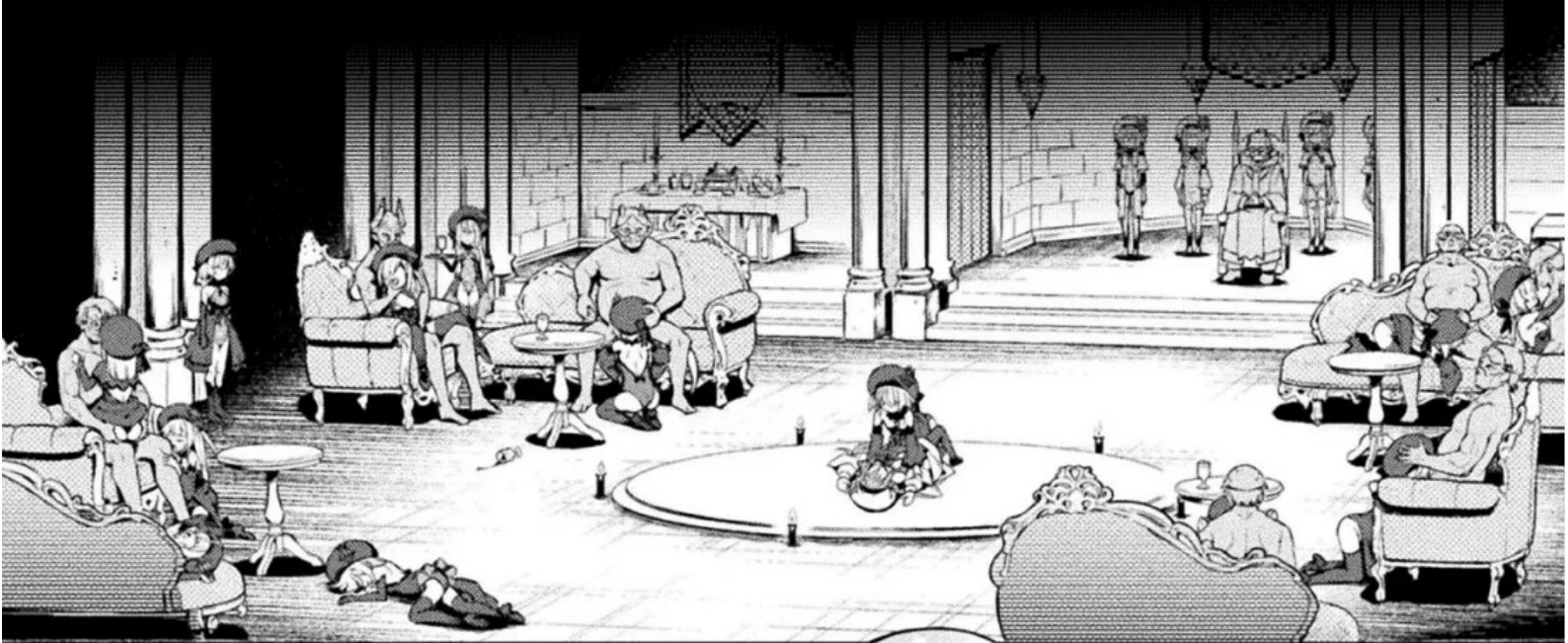
ですが計画を大分  
前倒しにしなければ

秘密を知られた以上  
直ちに貴女への  
儀式を執り行います

儀式って…

まさか…  
あたしにも同じことを  
するつもり!?





だめ…

シエスタ…あ

お姉ちゃんにも  
教えてあげるね？

女の子の  
きもちいらいと…

そんなの  
いらないっ!!

最初は  
こうやってね？

さわ

さわ

おっぱいを  
優しく触られて…



先っぽを手のひらでこねられて...

そしたらムズムズしてきてもっ...

撫でてほし...

撫でられたところが段々とかたくなってきた...

ん... 先っぽをきゅってしてほしいって... 思っちゃうの♡



んっ

あっ

やめ... シエスタ...

んっ



あ…っ!?!

だめっ  
まって…っ

アイツに  
パンツ…っ

見られちゃっっ!!

見えるっ!!

か… ああ…

…  
かわいい♡  
お姉ちゃん

な…  
なんて…?

ん…

ん…



先生に…

みんな  
皆…

だ…めっ

「  
バ  
ッ

お姉ちゃんの  
かわいいところ

いっぱい  
見てもらおう？

んあっ

見るなあっ

見るなあっ

「  
バ  
ッ



んっ

「  
バ  
ッ



んん…!!?



お姉ちゃん…

…?



知ってる？  
お姉ちゃん…

おまたの  
ぶくっとしてる  
っっ…

…？

ここのまんなかを  
こするとね？

すっごく…  
きもちいいんだよ？

ふあっ!?

ぬれてる…♥

シエスタまって…  
まってえ…

あ…

や…あ

キス…  
よかったんだ♥

うれしい…  
お姉ちゃん…

アッ

もっど…  
してあげるね♥

スリ



なにこれえっ

どうっ  
お姉ちゃん…

おまたごすごす…  
すごいでしょ？

なに…？

…あっ

あっ

これっ

あっ

ズン

シエスタ…  
だめ…っ

これ…  
だめ…え

あっ♡

我慢しないで  
お姉ちゃん

いっせ  
きもちよくなっ  
ほしの♡

やめっ♡

あっ♡

くちゅ

くちゅ

くちゅ

びん

なに…これ…

んっ

んっ

からだが…  
…あつい…

あたま…  
…ふわふわ…

わかんなく…  
…なる…

はあ…  
んあ…?

あっ♡

…お姉ちゃんも  
…真っ白になって…

あっ♡

おかしく…  
なっちゃえっ♡

びく

スス

ほ

ちゅ

くちゅ

んん

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ





どう?  
お姉ちゃん…

身体中から  
魔力が溢れて…  
すごいでしょう?

……  
守らなきゃ…



それでね…  
いちばん  
すこかったのは…

絶対に…  
シエスタを…



アイツを倒して…

先生の…  
遅いおちんちんが  
おまたの奥を  
かきまわして…

先生にご奉仕して  
悦んでもらって…

シエスタを助けて…



私で  
きもちよくなって  
くれた証を…



いっぱい…  
注いでもらう  
ことなの♡

ここから逃げて…

んっ♡

んんっ♡

あむ…♡

んっ♡

それから—

おねえちゃん…

お姉ちゃんも…

もっ

きもちよく

なりたいよね？

あれ…？

なん…で…

手が…

くちゅ♡

か…  
か…  
か…  
か…  
か…





安心して…

わたしたち  
魔砲少女も皆…

そうなっちゃう  
から…♡



だから  
お姉ちゃんも  
はやく…

先生の  
大きな手で…

舌で

…  
おちんちんで♡

はあ♡

はあ♡

うごめい♡  
うごめい♡

は♡

きもちわる  
なごっ♡

トドク♡



♡ ぽんぽん♡

ぽんぽんは

がまん  
できなかつた  
んです♡

はやくせんせいの  
おちんちんっ  
欲しかったんです♡

だから抜かないで  
ください♡

ぽんぽん...

せんせー...  
すき...♡

♡ おちんちん♡

ぽんぽん

おちんちんを抜かないで...

あ、シエスタにいつぱい  
ご奉仕させていただきます♡

シエスタにいつぱい  
きもちよくなっ  
てください♡

シエスタにいつぱい  
射精してください♡

せんせえ  
おねがい♡

よく言えました  
ご褒美です  
たっぷりと…  
腔奥で  
受け止めなさい

あ…♡

ありがとうございます♡

ありがとうございます♡  
せんせえ♡

私がご奉仕しなきゃ  
いけないのに…♡

ありがとうございます♡  
じゅんます♡

ありがとうございます♡  
じゅんます♡

だ…め

あ♡

とまじこえ

ありがとうございます♡  
じゅんます♡

ありがとう





にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ

にゅにゅにゅ



あ…ふ♡

準備も整った  
ようですね

貴女のおかげです  
シエスタ

それでは  
最後の儀式を  
行いましょう…



は…ふ…

せんせえ…

…びんご♡

私たちを  
ご賞味ください♡

To be continued